

令和4年 第14回帯広市教育委員会会議録

1. 令和4年9月2日 金曜日 16時 ～ 17時15分
帯広市教育委員会会議を市役所 10階第5A会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	広 瀬 容 孝
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	柳 川 久

3. 本日の議事日程

日程第1	会議録署名委員の指名について
日程第2	その他(1) 今後の事業予定について
	その他(2) 寄附受納について
	その他
日程第3	議案第30号 令和3年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について【非公開】
日程第4	報告第20号 第10回中城ふみ子賞入賞作品について【非公開】
日程第5	報告第21号 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について【秘密会】

広瀬教育長

ただ今から、令和4年第14回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(桑嶋企画総務課長補佐 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は藤澤委員及び柳川委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村木 室長

学校教育部の今後の事業予定についてご説明いたします。議案書35ページになります。まず、学校地域連携課では、第51期秋季地域子ども会リーダー研修会が10月15日に児童会館にて行われます。次に学校教育指導課からは、記載のとおり7校で公開研究会等が行われる予定です。学校教育部からは以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する主な事業予定についてご説明いたします。はじめに議案書36ページ、生涯学習文化課では、10月6日、帯広市小中学生のための札幌コンサートの外、各種行事をご覧の日程で予定しております。次に38ページ、図書館では、読書週間事業を10月27日から11月9日まで開催いたします。次に児童会館では、10月1日に野草園秋の散策会外、各種行事をご覧のとおり開催いたします。続きまして、41ページから42ページ、百年記念館では、10月8日から10月30日まで、アイヌ文化ロビー展、また、10月22日から11月13日まで、百年記念館40年のあゆみとして、企画展を開催する外、各種講座をご覧の日程で予定しております。次に動物園では、10月23日に「とかちの野生動物の今、大学と動物園ができること」と題して特別講演会などを開催いたします。最後にスポーツ課では、10月10日に、令和4年度スポーツ賞、スポーツ奨励賞の贈呈式を予定している外、10月30日には、2022フードバレーとかちマラソン大会を開催いたします。生涯学習部に関する主な事業予定は以上です。

広瀬教育長
各 委 員
広瀬教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村木 室長

学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書45ページをご覧ください。学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住の方423名より536万4千

円をご寄附いただいております。次に学校教育課担当分として、帯広市立翔陽中学校の子どもたちに、部活動等の場面で活用してもらうため、〇〇〇〇様より卓球台1台を、帯広市立啓北小学校の子どもたちに、健やかに学校生活を送ってもらうため、株式会社アイズ・カンパニー様よりスポーツマスク376枚を、児童生徒の学校における教育環境を充実させていくため、帯広ライオンズクラブ様より生理用品450セットを、学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究に役立てるため、市外在住の方132名より171万7千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、こども学校応援地域基金外1基金に積み立てるものです。学校教育課からは以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する寄附についてご報告いたします。議案書46ページであります。はじめに生涯学習文化課では、風土に根ざした文化の振興のためとして、市外在住の方27名より39万8千円をご寄附いただいております。次に図書館では、図書資料充実のためとして、市外在住の方37名より60万4千円をご寄附いただいております。次に動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、市外在住の方1,626名より、2,103万4千円をご寄附いただいております。最後にスポーツ課では、スポーツ振興のためとして、市外在住の方47名より60万8千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、ふるさと文化基金外3基金に積み立てるものです。生涯学習部からは以上です。

広瀬教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

生理用品の寄附についてお聞きします。学校では実際にどこに配置しているのか。どのような形で使用されているのか教えていただきたいと思っております。

高橋 課長

生理用品の使われ方、実際にどのように手にするかということですが、すけれども、帯広市立小中学校と南商業高等学校では、令和4年度から各学校の女子トイレに設置する取り組みをしております。昨年度から議会での議論や要望書をいただいている中で、これまでは保健室の養護の先生を通して、相談があれば渡すという形でしたけれども、昨年度、試験的に中学校2校に置き、アンケートを取っており、お子さんによっては、忘れてきたり、行くのにためらいや急に始まったり、対応ができない場合、心の不安があるということなどの声も聞いております。今年4月からは学校の女子トイレに設置する取り組みをしております。各学校によってトイレの形状が異なるため、トイレの中の手洗い場に吊下げたり、ケースに入れたり、個室に設置するなど、取り組んでいただいております。現在、ほとんどの学校で取り組みが進んでおり、準備でき次第、全ての学校で取り組まれるということです。

藤澤 委員
広瀬教育長

ありがとうございます。
他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。
事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局
広瀬教育長

ございません。

事務局からは、特にないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各委員
広瀬教育長

ありません。

別になれば、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第3から日程第4の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第3号及び第5号により非公開に、日程第5の案件については、同項第1号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各委員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより、会議を非公開といたします。

日程第3、議案第30号、令和3年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第30号、令和3年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定についてご説明いたします。議案書1ページをご覧ください。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものです。最初に令和3年度帯広市一般会計歳入歳出決算のうち、教育委員会の全体についてご説明いたします。議案書2ページの上段、(歳入)教育委員会合計の欄をご覧ください。令和3年度収入済額は、総額40億4,536万4,891円となっております。私からは、そのうち学校教育部所管分の主なものについてご説明いたします。諸収入のうち、奨学資金貸付金元金につきましては、予算額3,374万円に対して、調定額は3,783万3,300円、収入済額は右側、主な事業に記載のとおり3,503万8,800円でした。収入済額は予算対比で129万8,800円の増となっております。これは繰上げ返還の増が主な要因であります。また、収入未済額は279万4,500円となり、令和2年度と比較しても同程度であります。今後も夜間督励やきめ細やかな納付相談等により、収納率向上に努めてまいりたいと考えております。次に学校給食費収入につきましては、予算額6億6,427万円に対して、調定額は6億5,776万1,061円、年度内に返金手続きが完了しなかった還付未済額3万8,008円を含む収入済額は、右側、主な事業に記載のとおり6億2,876万5,154円でした。収入済額は予算対比で3,554万2,854円の減、収入未済額が2,802万4,385円となり、収入未済額は令和2年度と比較して、117万3,880

円減少したところでは、今後も給食費の自動振替制度や児童手当からの委任払いの活用など、学校と連携した細やかな督励を行い、収納率向上に努めてまいりたいと考えております。最後に、2段戻りまして、寄附金につきましては、各基金に多くの賛同をいただき教育振興基金寄附金に4,644万2千円、こども学校応援地域基金寄附金に1億3,172万9,496円のご寄附を頂戴しました。いただいた寄附金につきましては、子どもたちのために有効に活用させていただきます。

続きまして、議案書4ページの上段、(歳出)教育費合計の欄をご覧ください。令和3年度予算現額は、当初予算額に小学校・中学校のリニューアル改修事業費、大空地区義務教育学校整備費、学校保健特別対策事業費などの令和2年度からの繰越明許費のほか、各社会教育施設の運営に要する経費などの補正予算額及び予備費充当額を合わせまして、総額83億3,063万8,200円となっております。このうち、学校教育部所管分については、令和3年度予算現額55億7,257万6,350円に対して、決算額は52億9,260万9,032円、小学校・中学校のリニューアル改修事業費、大空地区義務教育学校整備費、学校保健特別対策事業費などの翌年度繰越額は、1億3,726万9,060円となり、1億4,269万8,258円が不用額となっております。次に不用額が生じた主な要因につきましてご説明いたします。教育総務費中、事務局費では、1,734万9,826円の不用額が生じましたが、これは就学資金貸付金において、新規奨学金申請者が減ったことによる貸付金の減などが主な要因であります。地域連携費、不用額789万8,693円は、子どもの居場所づくり事業費において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、放課後子ども広場の実施回数が減少したことに伴う、事業費の減などが主な要因であります。

次に小学校及び中学校費につきまして、一括してご説明いたします。小学校費中、学校管理費、不用額4,562万2,907円及び中学校費中、学校管理費、不用額1,791万9,157円については、小・中学校の学校管理費における電気・水道及び燃料使用量の減少に伴う需要費の減や新型コロナウイルス感染症対策の実施に伴い、学校施設地域開放推進事業費において、各種事業の中止、時間数の減に伴う委託料が減少したこと、スクールバス運行事業費において、校外活動スクールバスの運行距離、時間数の減等により委託料が減少したことなどが主な要因であります。同じく小学校費中、教育振興費、不用額812万7,937円及び中学校費中、教育振興費、不用額767万5,154円は、いずれも、就学援助費において、対象となる児童・生徒の減少によるものなどが主な要因であります。次に高等学校費中、学校管理費の不用額349万3,476円は、水道の使用量の減少に伴う需用費の減や新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、国際理解教

育推進事業費において、国際姉妹都市マディソン市への派遣研修が中止になったことに伴う旅費と補助金の減などが主な要因であります。最後に保健体育費中、学校給食センター費の不用額 1,704 万 4,544 円は、児童生徒の減少に伴う賄材料費の減少などが主な要因であります。なお、令和 3 年度の主な事業の概要につきましては、議案書 8 ページから 29 ページまでの「施策 2、笑顔でつなぐ、みんなの子育て―子育て支援の充実―」「施策 12、未来を拓く子どもとともに育む―学校教育の推進―」ごとに記載しております。学校教育部に係る説明は以上です。

井上 部長

続きまして、生涯学習部に関する決算及び事業概要についてご説明いたします。まず、主な歳入についてご説明いたします。議案書 3 ページになります。使用料及び手数料につきましては、全体で予算額 1 億 1,312 万 8 千円に対し、7,514 万 4,384 円の収入済額となり、予算対比 3,798 万 3,616 円の減となったところでございます。内訳は主な事業欄に記載されておりますが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一時休館を行ったことやイベント等の減少による利用者減の影響のため、館の室料・冷暖房料や動物園入園料等が減少したものでございます。次に寄附金につきましては、多くの賛同をいただき、ふるさと文化基金からスポーツ振興基金までの各種基金に総額 5 億 963 万 9,424 円のご寄附を頂戴しました。基金ごとの寄附金額につきましては、右側に記載しておりますのでご覧いただければと思います。いただいた寄附金につきましては、それぞれの目的に沿い、社会教育・スポーツの振興に有効に活用させていただきたいと考えております。

最後に諸収入のうち、主な事業の欄にあります広告料につきましては、生涯学習部の所管施設全体で 1,422 万 7 千円の予算額を見込んでいましたが、572 万 3,909 円の広告料にとどまり、予算対比 850 万 3,091 円の減となったところでございます。特に帯広の森屋内スピードスケート場内に掲示する広告の申込が半数以下となったことが主な要因でございます。

次に歳出についてご説明いたします。議案書 5 ページをご覧いただきたいと思っております。令和 3 年度予算現額 27 億 5,806 万 1,850 円に対して、決算額は 26 億 4,635 万 1,181 円であり、7,728 万 669 円が不用額となっております。不用額が発生した主な要因につきましてご説明いたします。社会教育費中、文化振興費では 598 万 1,821 円の不用額が生じておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止のほか、大会派遣中止による派遣補助金の減などが主な要因となっております。同じく社会教育費中、とかちプラザ費では 209 万 5,656 円、市民文化ホール費では 584 万 2,174 円の不用額が生じておりますが、とかちプラザの非常用蓄電池設備改修工事、

文化ホールの冷温水発生器更新工事の入札減が主な要因となっております。このほか百年記念館費で291万3,710円、図書館費で666万2,682円、児童会館費で293万541円、動物園費で600万7,494円の不用額が生じておりますが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響に伴う一時休館及び節減による光熱水費などの減が主たる要因となったところでございます。最後に保健体育費中、保健体育総務費の不用額3,363万5,575円は、フードバレーとかちマラソンがオンライン開催に変更になったことによる事業費の減のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が縮小となったことによる減などが主な要因でございます。なお、令和3年度の主な事業の概要につきましては、議案書16ページから29ページまでの「施策13、いつまでも学ぶって面白いー生涯学習の推進ー」「施策14、潤いのある暮らしと地域をつくるー文化芸術の振興ー」「施策15、スポーツで楽しく、ハツラツ、健康にースポーツの振興ー」「施策22、認め合い、つながり、暮らすー多様な主体が活躍する地域社会の形成ー」に記載をしてございます。生涯学習部に係る説明は以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

質疑は7ページから29ページの主要な施策の成果についても、併せてお願いします。

藤澤 委員

4点ほど質問させていただきます。施策の成果の方で、12ページ、学校給食業務費の中の放射性物質の濃度測定については、1都16県となっておりますが、北海道以外を意味するものなのか、また、限定した理由について教えてください。

2点目は、14ページの就学資金貸付事業について、高校生は継続も新規もないということですが、令和2年度も同様だった記憶がありますが、今後も続けていくのかお聞きします。

3点目、15ページ、就学援助費等支給事業について、認定者数が出ていますが、申請されて認定された数で、援助基準を満たしている世帯で申請していない保護者は把握されているのでしょうか。

4点目、22ページの動物園管理運営費について、キッチンカー導入成果として、園内に入る際、出店料金が発生するのかお聞きしたいのと、どれくらい売上があったのか、また、園内に売店や食堂もあることから、メニューの調整についてどのようになっているのか、分かる範囲で教えていただきたいと思います。

稲葉センター長

放射性物質濃度測定の1都16県につきましては、福島原発の影響を受けまして、東北6県、関東地方10県、東京都をいれて1都16県となります。放射性物質濃度測定は、令和3年度は野菜129件、魚介類6件、加工品107件、合わせて242件を検査してございまして、放射能が検出されるものはなかったという結果です。

高橋 課長

まず、12-5-1、就学資金貸付事業につきましては、昨年度は高

校生の新規、継続ともなかった状況でございます。この事業自体は、高校生、専門学校生、大学生を対象としておりまして、各学校に貸付の周知をしてございます。今年度は貸付事業をさらに拡大する目的で、入学時に一時金としてお貸しする入学支度金という制度を新たに創設いたしまして、令和5年度の入学にあたる方を対象に、今年度中に貸付が始まります。周知の方法についても工夫しながら、より活用できるように進めてまいりたいと考えております。

次に就学援助費の対象となる世帯を把握しているかということですが、すけれども、こちらは申請という制度で、申請を受けて初めて所得の状況を調べる形になっております。対象となる世帯の数字は、教育委員会としては持ち合わせておりません。ただ、対象になる方の申請を受けることが大事で、周知が大事になると考えております。新一年生の健診時や新年度が始まる前にも学校を通じて周知しておりますし、継続される方も、1年ごとの申請ですので、年度に入ってから、忘れていないか、お声かけということで周知には力を入れております。

柚原 園長

昨年度、キッチンカーは3台、土日中心にローテーションで販売していただいております。既存の食堂では、ラーメン、豚丼、カレーライスなどで、それ以外のメニューを出していただいております。あまり影響はないように配慮していただいている次第です。年度末に売り上げの明細を出していただくのですが、土日天候が良ければ、長蛇の列ができております。出店料はキッチンカーの面積分だけのお金をいただいておりますので、それほどの出費にはなっていないと考えています。

藤澤 委員
佐々木委員

ありがとうございます。

3点質問があります。まず、小学校と中学校の学校管理費の不用額については、主に光熱水費の減ということで、高校の学校管理費の不用額は水道代の減と聞こえたのですが、このあたりの減少の理由について、いろいろな事業がストップしたこと以外に理由があれば教えてください。

2点目、16ページ、教育環境デジタル化推進費の中に、学校ICTヘルプデスクを設置とありますが、この学校ICTヘルプデスクがどういうものか教えてください。

3点目、17ページ、移動図書館バスの運行について、移動図書館バスの利用人数がわかれば教えてください。

島田事務長

南商業高校の水道代につきましては、例年、水道代は6,500 m³ほどとなっておりますけれども、令和3年度につきましては、5,000 m³弱となっております。5月6月の水道代が少なかったもので、要因としましては、5月6月に太陽が出なかった日が長かったものと思われる。5月6月の水道代は、いつも変動幅が大きいのですが、

令和3年度につきましては、水道代の減となっております。

高橋 課長

学校ICTヘルプデスクにつきましては、GIGAスクール構想で、各学校の1人1台端末を令和2年度末に導入し、令和3年度からは本格的に使用してございます。その中で各学校において、端末を活用する際に障害が起きたり、年度途中で児童生徒が異動する際のアカウント管理などの対応として、教育委員会職員で対応するとすると大変なことになりますので、ヘルプデスク業務を専門の民間業者に委託しております。

石津 館長

移動図書館バスの利用状況につきましては、稼働日数として昨年度は151日運行、利用人数は延べ3,740人、貸出冊数は2万2,412冊の利用がございました。

桑嶋課長補佐

小中学校の光熱費の減につきましては、年度途中で燃料費の高騰がございまして、補正予算を組みましたが、単価の伸び方がそこまで伸びなかったため、補正予算を組んだ段階の想定ほどは行かず、その分が不用額となったものです。

佐々木委員

わかりました。

田中 委員

3ページ、諸収入の広告料について、オーバルの広告が減ったことから、当初予算から800万円が減ったというお話でしたが、何か対策を立てていらっしゃるのかお聞きします。

14ページ、奨学金貸付事業について、借りる人が少なくなったので、不用額が多くなったと理解をしましたが、これは無利子だと思いますが、いつまでに返済するのか教えていただければと思います。

9ページ、食育推進事業費のところ、児童生徒が考案したレシピをメニュー化したと記載がありますが、具体的にどんなものか教えていただければと思います。

11ページ、研修講座の回数について、2回で受講者数が延793人とありますが、1回に400人近い人数の参加というのは不思議に思いました。具体的にどういうことなのか、教えていただきたいと思えます。

最後に17ページ、児童会館について、先日、人形劇を見せていただいて、非常に感銘を受けたのですが、それまで、児童会館については、所管が教育委員会ではない時もあったため、記憶から抜けていたところがあって、改めて見せていただくと、年間の総利用者数が11万5千人という凄まじい数字で、非常にびっくりした次第です。昨年度と比較してどうなのかということと、今の課題など、耐震の問題とか、教えていただければと思います。

河瀬 室長

オーバルの広告料減につきましては、オーバルの中地のところに30程の枠がございまして、昨年度は12の企業からご協力いただきましたが、半数に届いていないところです。例年、枠の予算を満額付けておりますから、そこまでいかない部分もあります。広告代理店

を通して募集をかけており、一昨年、広告代理店から、どのような課題があるのか聞き取りを行いました。企業側としては、1年間45万円はハードルが高いというお話を聞いております。今後の課題として、金額の見直しについても考えなければならないと思っておりますが、現在の金額でももう少し枠が増える努力も必要と考えております。

高橋 課長

奨学金の返済についてご説明いたします。帯広市の奨学金制度の利率は無利子でございます。学校を卒業されてからの返済開始となり、大学、専門学校につきましては11年以内、高校は7年以内の返済期間としております。実際の返済方法は、借用書を作る段階で、個々に金額や返済回数などの返済計画を立てていく形になってございます。

稲葉センター長

児童生徒が考案したメニューにつきまして、今、手元に資料がなく、細かいメニューまではお答えできないのですが、家庭科の授業を通して、栄養教諭が指導しながら、地場産野菜を活用したメニューとか、食材などを工夫しながら、新しいものを考えたものもありますし、生徒がネーミングを考案したというものもあります。

小林 所長

教育研究所の講座回数につきましては、記載が2回となっておりますが、夏季教員研修講座1回、冬季教員研修講座1回というカウントの仕方となっております。夏は5日間10講座、冬は4日間8講座という形で講座を進めております。

渡邊 館長

児童会館の利用者人数につきましては、令和2年度は5万476人、令和3年度はその倍以上となりました。コロナ前は年間13万人から15万人くらいでしたので、まだ、コロナ以前には届かない数字ではありませんけれども、昨年10月に遊び場を改修して、リニューアルオープンした影響により、令和3年度11万5千人のうち、8万人が10月以降の下半期の利用となっております。毎月、コロナ前以上のご利用いただいております。課題等につきましては、耐震化は平成24年度25年度に工事済みでございますが、開館してから58年経っており、随時、設備などの経年劣化、社会的劣化などの更新作業は続けておりますけれども、引き続き行っていく部分がございます。生涯学習部に編入してという部分では、切れ目ない生涯学習ということでは、小学校高学年から中学校、高校について、事業対象者として、手厚く誘導していきたいと考えてございます。

田中 委員

ありがとうございます。奨学金について、無利子で11年、7年というのは、敷居が高いというわけではないので、ありがたい制度だと思います。ぜひ、積極的に活用できる仕組みを作っていただければと思います。

柳川 委員

8ページから29ページの全ての実績について、特に参加人数は、あくまでもコロナの状況下における数と把握しております。全体的

なことをお伺いすると大変なので、例えば、26 ページの下の表、いくつかの体育施設の利用者数の記載があります。この数値のうち、前年度、またはコロナ以前の実績と比べて回復傾向にあるのか、あるいは、まだまだなのか、教えていただければと思います。

佐藤 課長

体育施設につきましては、前年度と比べると、回復傾向というものは見えていなく、コロナの影響はまだ受けております。今年度に入りますと、実際には厳しい状況ではありますが、いろいろなイベントも再開している状況でございますので、今年度から回復傾向にあるのではないかと考えております。

柳川 委員
広瀬教育長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第 30 号、令和 3 年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

各 委 員
広瀬教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第 30 号は了承されました。

日程第 4、報告第 20 号、第 10 回中城ふみ子賞入賞作品についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

井上 部長

報告第 20 号、第 10 回中城ふみ子賞入賞作品についてご説明いたします。議案書 31 ページから 33 ページに記載しております。中城ふみ子賞につきましては、帯広出身の歌人、中城ふみ子の功績を称えるとともに、地域からの新たな文化の創造・発信を目的に、中城ふみ子の没後 50 年となる平成 16 年に創設され、概ね 2 年に 1 度実施してきたところでございます。第 10 回は、今年 5 月 1 日から 5 月 31 日まで作品の募集を行い、応募数は 91 件となりました。8 月 2 日に実施いたしました、選者 3 名によるオンライン選考会の結果を踏まえ、8 月 7 日に中城ふみ子賞実行委員会において、32 ページに掲載しておりますとおり、第 10 回中城ふみ子賞入賞作品一覧のとおり決定されたところでございます。

中城ふみ子賞につきましては、東京都足立区の大黒千加さんの作品、「境界線」です。選考会では、ストーリーやシチュエーションで読ませることができ、中城的である。さりげない歌に実感がこもっていると、選者から高い評価を得たところでございます。他の賞につきましては、次席が 2 人、札幌市の小川鳩子さんの「女ともだち」、十勝管内の清水町の宮崎幸夫さんの「木樽の底」、佳作は 3 人、千葉県市川市の岡本恵さんの「残響」、東京都練馬区の柳澤美香さんの「朝靄」、兵庫県加古川市の前田美樹さんの「902号室は飛行船」、また、候補作の賞につきましては、該当はなく、以上 6 名の方の作品が入賞となったところでございます。

33 ページにつきましては、入賞作品のうち、それぞれ選者による 50 首詠のうちから抜粋で作品を掲載しておりますので、参考にご覧いただければと思います。入賞作品の発表につきましては、来週中を目途にプレスリリースを行う予定としています。表彰式につきましては、中城ふみ子の生誕 100 年を記念して、誕生日である 11 月 25 日金曜日に、とかちプラザにて、帯広市長より表彰を行う予定となっております。報告は以上です。

広瀬教育長
田中 委員

これから質疑に入ります。

2 年に 1 回、中城ふみ子賞を帯広・十勝から出していることは非常に意味のあることだと理解しています。来週中にプレスリリースをして、その後、市長から表彰を行うという予定と説明がありましたが、私の記憶に間違いがなければ、短歌研究という全国紙に中城ふみ子賞の受賞作品を 50 首詠すべてが掲載されるはずですが、全国的にも有名な雑誌に載るということで、中城ふみ子賞の意義も大きいだろうと理解しています。積極的に広報、宣伝していただければと思います。いつの短歌研究に掲載されるのか、例年でも構いませんので教えてください。

石津 館長

今、田中委員からお話があったとおり、中城ふみ子賞の受賞作品につきましては、短歌研究に掲載していただいております。今回ですと、11 月号、実際には 10 月 25 日に発売予定、中城ふみ子賞は全 50 首、次席は半数の 25 首、佳作は数を減らした形で掲載される予定をしております。

田中 委員

母体は全然違いますけれど、市民文芸もせっかく作っても、本屋さんに出しても売れない、在庫がたくさん余っているという話をよく聞きます。短歌研究も帯広市がどこまで関われるかわかりませんが、できれば、何らかの形で宣伝していただければありがたいと思います。

石津 館長

短歌研究につきましては、関係する書店にもお知らせして、PR していただけるよう、努力させていただきたいと思います。

田中 委員
広瀬教育長

よろしくお願ひします。

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

これより会議を秘密会といたします。

(以下 非公開)

広瀬教育長

以上で、本日の日程はすべて終わりました。

これを持ちまして、令和 4 年第 14 回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。